

令和8年1月7日

東京地方裁判所 御中

原告：株式会社Pioneerwork
代表取締役 後藤 陽一

証拠説明書

事件名：損害賠償請求事件

原告：株式会社Pioneerwork

被告：Entabeni Systems Inc.

号 証	標目	作成日	作成者	立証趣旨	原 本・ 写し の別
甲 1	Memorandum of Understanding（署名済み）	2025年9月21日	株式会社 Pioneerwork / Entabeni Systems Inc.	本件契約（MOU）の締結（訴状第2の2（1））、誠実交渉義務を含む契約内容（同2（2））、法的拘束力、管轄合意の立証	写し
甲 2	損害賠償請求通知書（NOTICE OF CLAIM）	2025年12月7日	株式会社 Pioneerwork	催告の事実（訴状第2の5（3））、請求額、支払期限（令和7年12月25日）の提示、提訴予告の立証	写し
甲 2- 1	メール送信履歴（NOTICE OF CLAIM 送付）（甲2補強）	2025年12月6日	株式会社 Pioneerwork → Erik Mogensen （被告代表者）	甲2（NOTICE OF CLAIM）の送付事実および送付日時の立証（甲2の補強）	写し
甲 3	被告送達先・登録情報メモ（日本語）	2026年1月7日	株式会社 Pioneerwork	被告の本店所在地、登録代理人等の整理（訴状第2の1（2）、国際送達の補助資料）	写し
甲 3- 2	Colorado州 Business Database（Entity Summary）	2025年12月25日（取得日）	Colorado Secretary of State	被告の登録情報（Entity ID、住所、Registered Agent）の公的証明（訴状第2の1（2））	写し
甲 4	11/11合意メッセージ（取引ストラクチャー承認）	2025年11月11日	Erik Mogensen （被告代表者）	被告による取引ストラクチャーの明示的承認、原告の合理的期待の形成（訴状第2の3（2）エ）	写し
甲 5	ゴースティングの連絡履歴（通話ログ・メッセージ）	2025年10月8日～11月25日	株式会社 Pioneerwork → Erik Mogensen	原告の誠実交渉義務の履行（訴状第2の3（1））、被告による期待形成行為（同3（2））、被告の不应答・交渉打ち切り態様（同3（3））、誠実交渉義務違反の事実の立証	写し

甲 6	損害計算書 (USD→JPY換算)	2025年 12月25日 (換算基 準日)	株式会社 Pioneerwork	請求額(金4,677,600円)の算定根 拠、損害の内訳(訴状第2の5(1))	写し
甲 7	為替相場(TTM算定根 拠)スクリーンショッ ト	2025年 12月25日 (取得日)	三菱UFJリサーチ& コンサルティング	USD/JPY換算レート(TTM=155.92 円)の算定根拠(訴状第2の5(1))	写し
甲 8	Share Transfer Agreement v3(ドラ フト) break fee条項抜 粋	2026年1 月7日 (作成日)	株式会社 Pioneerwork	一方的交渉打ち切りに対する損害額の参 照根拠(訴状第2の5(1)イ)	写し
甲 8- 2	Share Transfer Agreement v3(ドラ フト)全文(甲8補強)	2026年1 月7日 (作成日)	株式会社 Pioneerwork	STAドラフト全体の文脈の補強(甲8 の補強)	写し
甲 9	稼働時間明細(MOU締 結後) — 100時間	2026年1 月7日	株式会社 Pioneerwork	経営者稼働時間100時間の内訳および 根拠(訴状第2の3(1)イ、同5(1) ア)	写し
甲 9- 1	カレンダー記録(会 議・作業枠)(甲9補強)	2026年1 月7日	株式会社 Pioneerwork	稼働時間(会議・作業枠)の客観的裏 付け(甲9の補強)	写し
甲 10	陳述書(後藤陽一)	2026年1 月7日	後藤陽一(原告代表 取締役)	稼働内容、稼働時間、深夜対応等の事 実(訴状第2の3(1)イ、同5(1) ア)、特に証拠化が困難な待機時間・ 深夜対応の実態の立証	写し

備考

1 国際送達に関する留意事項

被告は米国法人であるため、ハーグ条約に基づく国際送達手続きによる。訴状等の英訳が必要となる可能性がある。

2 原本の保管状況

甲1(MOU): 電子署名済みPDF、署名トレイル付き

甲2(通知書): 送付メールの送信ログとセット保管

甲4、甲5: メッセージアプリからのエクスポートデータ

甲7: ウェブページのスクリーンショット(URL・取得日時併記)

その他: 原告が内部作成した文書

3 提出形態

すべての証拠について、正本および副本(被告数分)を提出する。

以上